

## アシスト法

## 手術用手袋二重装着手順マニュアル

SARAYA



1 →

手袋装着者は滅菌ガウンを着用し、既に手袋を装着したナースの介助を受けながら手袋を装着する。手袋装着者は手指をガウンの袖口から出しておく。

右手の手袋装着

2 →

ナースが二重手袋の内側となるindicator手袋(青色や緑色)の反転部を持ち、包装紙から取る。

3 →

手袋掌側を装着者に向け、手袋開口部を十分に広げる。



4 →

装着者は、素手がナースの手袋に触れないようにインナー手袋に手を入れる。ガウン袖口より約10cm長く被覆する位置まで引き延ばす。

check  
約10cm

左手の手袋装着

5 →

反対側の手袋も2~4と同様の手順で装着する。

check  
約10cm

6 →

手袋が皺にならず、フィットしていることを確認する。

7 →

ナースは外側となる OUTER手袋の包装紙を開く。



8 →

手袋を包装紙から取り、インナー手袋と同様の手順で両方装着する。装着者もナースと共に手袋開口部を広げてもよい。

check

9 →

反対側の手袋も8と同様の手順で装着する。

check

10 →

手袋の巻き戻りや滑り落ちを防ぐため、 OUTER手袋はインナー手袋より約2.5cm延長させた位置まで引き延ばす(インナー手袋への血液などの曝露を防ぐため、この確認は必ず行う)。

check  
約2.5cm

11 →

手袋が違和感なくフィットしていることを確認する。

## 手術中に破損した手袋の交換方法



1 →

OUTER手袋の開口部をつかみ、表裏が逆になるように反転させながら外す。外した OUTER手袋は廃棄する。



2 →

滅菌済みのクロスやペーパータオルでインナー手袋に付着した血液などを完全にふきとる。



3 →

インナー手袋に破損などの異常がないかを確認する。  
●インナー手袋に破損がない場合は、そのままインナー手袋の上に新しい OUTER手袋を装着する。  
●インナー手袋に異常がある場合は、インナー手袋も廃棄し、手指消毒を行った後、新たに手袋を二重に装着する。

手袋に破損がない場合でも、手術が長時間に及ぶ場合には定期的に交換する。